

地域連携推進会議 会議録

日 時	令和8年6月26日（金） 13時30分～14時30分
場 所	静岡市桜の園 相談室
参加者	構 成 員 入所施設利用者 1名 利用者家族 1名 内牧町内会代表者 2名 施設職員 施設長 事務長 サービス管理責任者 主任生活支援員
内 容	1 あいさつ 2 桜の園の運営状況 （1）入居者の概要 障害支援区分の平均が5.5と重度の方が入所している。平均年齢は58.9歳。平均入所日数は12年6か月。 （2）令和7年度事業報告 外部サービスを活用し、利用者の豊かな生活を支援した。地域との交流も積極的に行った。職員による自己評価も昨年度よりも数値が高かった。利用実績は昨年度を上回り、黒字決算となった。 （3）令和8年度事業計画 事業目標に「利用者の豊かな生活を支援」を掲げ、利用者が生活しやすく、職員が働きやすい環境を整えていく。地域の行事に積極的に参加し、外部サービスの活用を広げ、利用者の外出の機会を増やしていく。 3 令和7年度利用者アンケートの結果 概ね良い結果が得られている。 食事について満足度が46%とやや低い数字になっている。常においしい食事の提供を心掛けているものの、朝昼晩のことなので、他の項目と比べると厳しい評価になっていると考えている。 昨年より職員による虐待についての意見が増え、職員の口調や言葉によって辛い思いをしたという内容であった。職員には、支援者としてのあり方、姿勢をもう一度見直し、自戒するように指導を続けている。 4 意見交換 町内会の活動は、年々参加者が少なくなる傾向にある。新東名下の桜の消毒を例年行ってきたが、昨年からはNEXCO中日本にお願いするようになった。 大茶会の作品展では、町内には多才な方が沢山いると感じた。駿府学園の作品もとても感銘を受けている。桜の園も作品を出していただいてありがたい。

	桜の園では、新東名の騒音の影響はないのか。町内では、新東名のトンネルの入り口付近に防音壁を設置していない箇所があり、漏れ出た騒音に対して苦情が上がっている。現在、その箇所を塞いでもらうように要望している。 ⇒ 桜の園では、新東名の騒音に対する苦情は出ていない。 桜の園の裏山に砂防ダムができれば、土砂災害の心配が多少解消されると思っている。現在用地買収の段階で、まだ数年かかりそうである。同じ山の東側斜面のほうは、今年から工事が始まると聞いている。 町内会から、市を通して国と県に要望をした。県には、内牧川の川底掘削と護岸工事をお願いしている。国には、内牧川からの水が流入し易くなるよう、安倍川との合流地点に護岸を作ってもらった。 前回の豪雨で被災した地域を対象に、豪雨等で浸水が予想される場合、自家用車を避難できるよう、西ヶ谷運動場の駐車場を開放してもらうことになった。 5 施設訪問について 次回の施設訪問は、令和8年11月27日（金）を予定 6 その他 特になし
備考	